

<<研究成果の紹介>>

ブドウ新品種の紹介

1. 成果の内容

最近のブドウの品種動向は、「巨峰」の伸びが全国的に著しく、生産過剰傾向で価格も伸び悩んでいます。本県における主力品種も「巨峰」であることから、今後産地として一層の確立を図るためには、新しい品種を導入する必要があります。これまで、品種試験の成果の中から紹介した「安芸クイーン（試験番号安芸津13号）」が、伊賀地域を中心に植栽され、現在全国1位の面積となっています。今回、新たに将来性有望と判断された二つの新品種が誕生しましたので、その特性を紹介します。

(1)ダークリッジ（試験番号安芸津9号）

交配組合せは巨峰×301-1 [巨峰×ナイアール]

果皮は「巨峰」と同じ紫黒色で、非常に着色しやすく、「巨峰」より色が濃く、「巨峰」より熟期が早いのが特徴です。また、結実性、収量性が優れ、食味も良好です。果粒は「巨峰」よりやや小さいですが、良いものは「巨峰」と区別ができないほど外観が優れた果房となります。

(2)ハニービーナス（試験番号：安芸津19号）

交配組合せは紅瑞宝×オリンピア。

果粒は非常にきれいな黄白色で、外観の優れた大きな果房となります。結実性、食味ともに良好で、熟期は「巨峰」より早いという特性を持っています。また、香りに特徴があり、成熟初期はマスカット香で、熟度が進むとその香りが少なくなり、「巨峰」と同じ様な香り（フォク



ダークリッジ

伊賀農業センターシー香)になります。成熟が進みすぎると果皮に褐変が生じやすくなるという事例もみられるので、適期に収穫することが大切です。

2. 技術の適用効果と適用範囲

主力の「巨峰」、「安芸クイーン」と熟期が違うので、出荷時期の分散が可能となります。また、果皮色が違うので、多様な消費者ニーズに応えることができます。

今回は雨よけ栽培での試験ですが、病害虫の抵抗性は「巨峰」並ですので、露地でも十分栽培ができると考えられ、県内のどの地域でも導入が可能です。

3. 普及利用上の留意点

育成は、農林水産省果樹試験場カキ・ブドウ支場です。現在、品種登録出願中ですので、実際に苗木が供給されるまでには1～2年程度かかると思います。

(前果樹担当 伊藤 寿)

表1 果実の特性比較（雨よけ栽培、H9）

系統・品種	収穫期	果皮色		果房重	果粒重	糖度	酸度
				(g)	(g)	(%)	(%)
安芸津9号	8/19	紫	黒	310.1	11.3	18.3	0.48
安芸津19号	8/19	黄	白	392.9	9.3	20.0	0.43
巨峰	8/26	紫	黒	321.3	12.8	19.0	0.39



ハニービーナス